



お元気ですか 志村 たかよし です



すべての学校・保育園で放射線測定へ



一般質問をする私（志村）＝3月21日

6月21日
本会議場で要求

6月21日の第2回定例会本会議で私（志村）は、日本共産党区議団を代表して一般質問にたち、多くの区民の方が不安を持っている地震や津波対策、放射能問題を中心にとりあげ、積極的な提案をしました。

その一つである「区内すべての学校・保育園等の放射線測定」については、当初、区長は消極的だったのですが、急きよ実施されることになりました。そこにいたる「3日間のドキュメント」を「報告します。」

と幼稚園、保育園などでの放射線量測定と学校給食等の食材の測定、その結果の公表を求めました。

「測定」に消極的な区長を批判

区長の答弁は「大気の測定を区内3ヶ所で行うので放射線量の状況は把握できる」というもので、給食の食材についても「放射能測定は都でおこなっており、暫定規制値をこえるものは出荷が停止している。区が改めて測定する必要がない」という消極的な答弁でした。

私は「区長の答弁は、放射能汚染にたいする区民や保護者の方の不安にこえるものではない」と、きびしく批判し、区民の心に寄り添った対応をとるよう強く要望しました。

6月22日 翌日の委員会でも要求

翌22日に開かれた企画総務委員会における補正予算審議の中でも私は放射線問題を取りあげ、相変わらずの区の官僚的な対応を批判し、区民の願いにこえるよう要求しました。

6月23日 区は「測定」実施を決定

23日になって、総務部長が私の所を訪れ、「区内すべての保育所



(認証保育所・認定こども園を含む)とすべての区立学校(幼稚園・小学校・中学校、柏学園)について24日から測定することにした」との報告があり、区民、保護者の願いが実現することになりました。

プールについては、小中学校の屋外プール(16施設)について6月中に採水および検査を行い、土壌の放射能測定は、あかつき公園、

堀留児童公園、月島第一児童公園の3カ所の定点で、来年3月まで行うとしています。

この測定結果は、区のホームページなどで公表されます。

日本共産党区議団は、震災直後の3月15日に「区内の放射能レベルの測定を実施し、結果を区民に公表すること」を区長に求めていました。

災害時に重要な役割を果たす「中央エフエム」の普及・活用を提案

被災地では、地震と大津波の中で、携帯電話は送受信不能となり、電気が切れるなか、避難生活での情報の頼りはラジオでした。

私は「中央エフエム」が災害時に活用されるためにも、放送内容を充実させてリスナーを増やし、中央区のコミュニティラジオとして普及活用することを求めました。

「聞いてもらえる放送局に」と区長

区長は「緊急時に活用していただけでなくにも認知度を上げていくのが課題。番組を区民やリスナーとともに作っていくなど日常的に聞いてもらえる放送局となるよう働きかける」など積極的な姿勢を示しました。

災害ボランティアの育成、福祉ネットワークの強化を提案

自治体の重要な仕事は、住民のいのちと暮らしを守ることです。災害が起きても区民を守れる医療と福祉の充実が求められます。

私は、質問で東日本大震災の被災地の様子を紹介しつつ「災害時に、自宅で避難生活をする在宅介護の方や慢性疾患をお持ちの方の命と暮らしを守るため、介護事業者の事業継続計画(BCP)の確

認や、災害時に協力していただける福祉ボランティアの育成、福祉ネットワークの構築などに、区が日頃から取り組むよう」提案しました。

「ボランティア育成・ネットワーク強化を進める」と区長

区長は「介護事業者に事業継続

計画や災害時対応マニュアルの作成を呼びかけている」

「災害時には、ボランティアや地域の方々の協力が不可欠。介護施設でのボランティアの受け入れを進めるとともに、ボランティア・区民活動センターや元気高齢者人材バンク等の取り組みを通じて育成に取り組んでいく」

「ボランティアを含め、民生委員や町会・自治会などの地域団体との連携を推進し、おとしより相談センターを核とするネットワークの強化を進める」

など前向きな答弁をしました。



「意見、ご要望など、お気軽に」連絡ください(03-6360-6360)